

第1回 球磨川下流域環境デザイン検討委員会 議事概要（案）

日時：平成25年1月29日（火）10:00～12:00

場所：やつしろハーモニーホール 3階 大会議室A・B

■議事要旨

1. 開会挨拶

・八代河川国道事務所長より委員会の名称、設立趣旨、委員紹介を交えた挨拶がなされた。

2. 委員紹介

・委員名簿のとおり紹介された。

3. 設立趣旨及び規約について

委) 規約について、3分の2の出席で委員会が成立するとあるが、8名構成のため3名の欠席で委員会が成立しない。行政委員は議会等もあることから八代河川国道事務所長が委員になるなど工夫が必要ではないか。

事) 了解。行政関係者については代理出席を認めることとしたい。

・設立趣旨、規約は承認された。

4. 委員長選出

・委員長に島谷教授を選出した。

5. 議事

・球磨川下流域の現状について、模型及び航空写真にて説明がなされた。

委) 加藤清正の時代からどのような改修が行われてきたのか、経緯が分かる資料を整理すること。

6. 今後の進め方について

委) 次回の内容はどのように考えているか。

事) 次回は2月18日を予定している。規約に専門家を招聘し意見を聴くことができるとあり、次回はアユの専門家として漁協関係者、アユに詳しい方を招いて意見を聴きたい。

また、委員会で必要と思われる情報提供依頼については、現地視察の際に申し付けたい。

7. 現地視察

委) 古い時代に使われた石が、石刎ねだけでなく、堤防沿いに残っていないか。現存している石刎ねの内部に当時の石が残っている可能性がある。また、石材の産地がわからないか。

- 委) 遙拝堰の普段の流量とその時の様子が知りたい。
- 委) 近年は海水温が上昇傾向ではないか。海水温の経年変化データを提示いただきたい。アユの遡上量減少と因果関係があるかもしれない。
- 委) 八代市民の球磨川に対する意識調査の結果があれば提示いただきたい。
- 委) 河床の縦断形状、横断形状の経年変化及び河床材料がわかる資料を提示いただきたい。
- 委) 遙拝と大仰な名前が付いているが、その由来を知りたい。
- 委) 外水面漁協と話した際に、覆砂の期待とその効果について興味を持っておられた。
- 委) 河口域に係る干潮時の航空写真があれば提供いただきたい。
- 委) アユの遡上量の経年変化や放流事業の実態、種苗アユの産地などがわかる資料を提示いただきたい。
- 委) 潮の干満により浸水したり露出したりする環境が無くなりつつあり、その環境を創出することは重要である。その特異な環境でしか生息しない種もある。